

2011年9月3日 14:20~17:20  
復興創発会議 in 仙台 (A3 Together presents)

# 復興創発ワークショップ

アイデアプラント  
石井力重  
rikie.ishii@gmail.com

# 共有、発展、創造

この3時間の内容

# 今日の内容

1. 共有) 気づきを周囲と共有し、骨太に
2. 発展) 開発チームに入り、  
よりよい開発へのディスカッション
3. 創造) ブレストCafe (可能性や花粉を得る)

# 1

## ポイント抽出ワーク

気づきを周囲と共有して、骨太にする

トークセッションを聞き  
「優れた切り口、  
取り入れたいポイント」  
が、各自の頭の中に。

「やる気になるいい話聞いたな！  
具体的には、えーつと・・・  
なんだっけ？」

「結構いろいろあった気がする  
するんだけどなあ・・・」

# 学びを書き出し、 共有する簡単なワークを

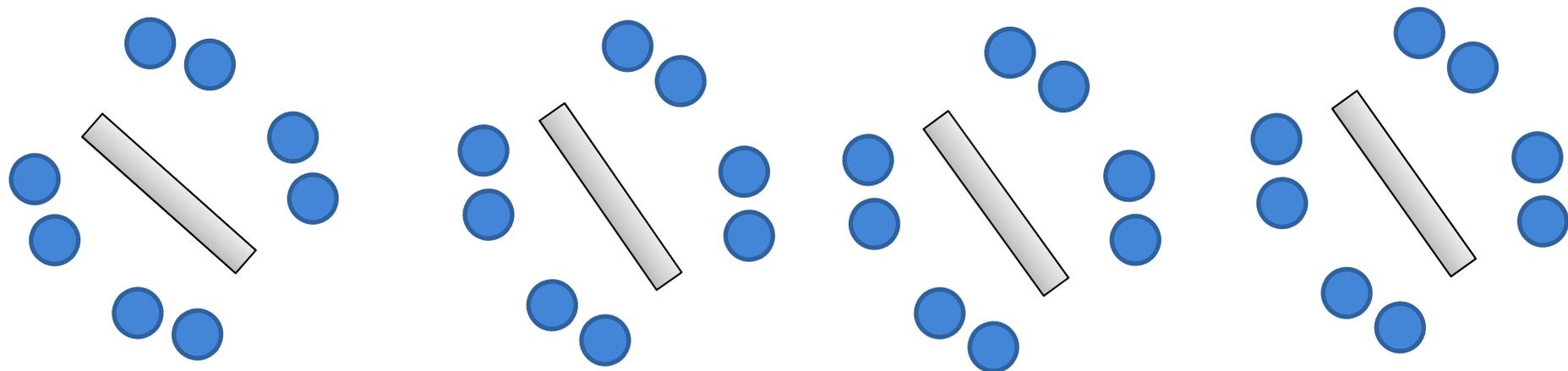
(時点からの参加者もおられます。シェアすることで、後のワークに、自然と入れるように)

# 4人組のポイント抽出ワーク (18分)

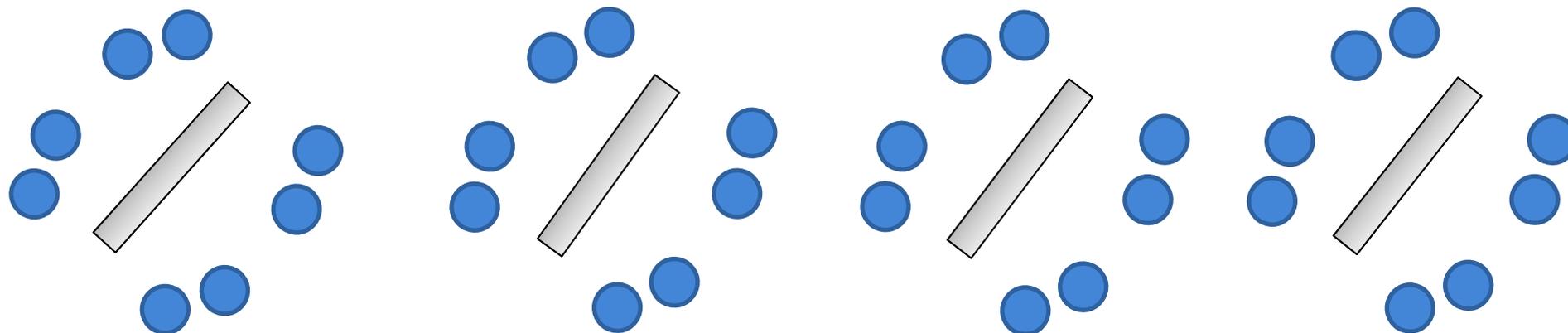
- ポストイットに各自が書く。  
トークセッションを聞き、  
自分が大事だと思ったことを。 (3分)
- 隣の人とペアに。
- 2人で紹介しあう。 (2分×2)
- ペア2つがくっついて4人に。
- ポストイットを4人で紹介、共有。 (8分)  
(似ているものをまとめたりしながら)
- 大事なことを忘れたくないことなどは、各自メモ (3分)
- (共有したポスト・イット→ホワイトボードに貼る。)

ここからの参加者  
の方も参加OK!

ただし、バラけて  
参加してください



4人組で、ホワイトボード、片面使う



# 2

## 役割付与型の提案会議

開発チームに入り、よりよい開発へのディスカッション

復興支援系のハッカソンで  
生まれた開発プロジェクト

「この開発プロジェクトを  
より良いものにするには？」

をテーマにチームに入って  
実際にディスカッション！

でも・・・

メンバーでもないのに  
実際のプロジェクトに  
意見できるものなの？

大丈夫です！

「今この場だけの仮想の役割」  
を1人1つ担って、  
提案会議をします

# 「役割付与型の提案会議」

仮想の役割を  
担い提案議



新設もOK



# 好きな役割を選んでください

E

開発協力

仮に) 技術的に協力をするなら  
こういうのはどうだろう、を提案

D

デザイン

仮に) デザイン面で協力するなら  
こういうのはどうだろう、を提案

B

ビジネス

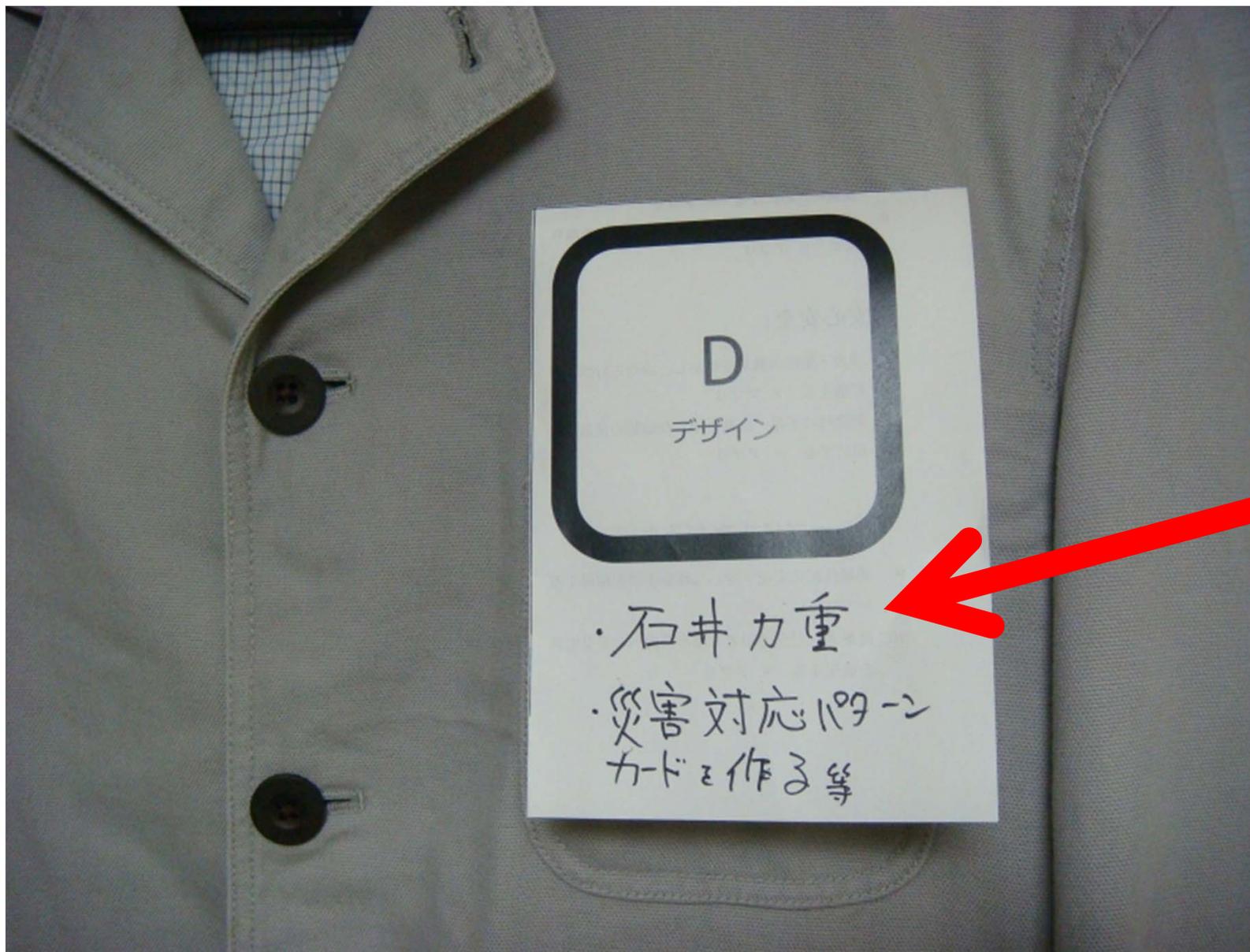
仮に) 広報や渉外で協力するなら  
こういうのはどうだろう、を提案

U

ユーザ役

ターゲットユーザとして  
どうなるとうれしいかを提案

# 「名前」「できそうな事」を書く



# この時間の2つの狙い

1. 開発チームのメンバーにとって：  
更に発展するための情報や、一緒に作れそうな、新しいメンバーと出会える（かも）
2. 一般参加者の方にとって：  
実際に開発しているプロジェクトを、よりよくするための議論に参加することができ、  
復興×ITをより詳しく考える材料が得られる。

# 各プロジェクトのプレゼン（20分）

- 皆さんは、聞きながら、どこに入りたいかを考えてください。
- プレゼン内容
  - 作っているものの概要
  - これまでにしてきたこと
  - 今後の見通し

（内容が分かれば、この構成でなくてもOK）

# ディスカッション (30分 + $\alpha$ )

- 各自、興味のあるプロジェクト参加します。
- **「この開発プロジェクトをより良いものにするには？」**

をテーマにディスカッション (30分 +  $\alpha$ )

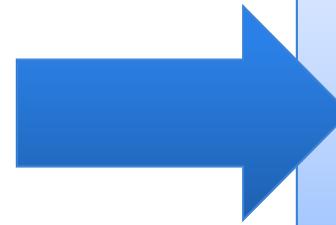
- 人数を適切なサイズにすることで、議論をしやすくします。
  - 大きすぎるところは、チーム内に小グループを作り、同時並行でディスカッション。

## チームメンバーが足りず、分割できない場合

---

各「小グループ」の会議には、実際のチームメンバーが、情報提供役として参加しますが、場合によっては、そうできないケースもあるでしょう。その場合は、上限を超えた人数分だけ、別チームへ移動してください。

# レビュー（20分）



時間の無い場合は、  
サンプル的に  
1グループだけ  
お伺いします。

---

## 各チーム、提案会議から得られた ものを、3分程度で紹介

チームを小グループに分割したところは、合計、3分間の  
枠です。代表例を紹介するか、全部を素早く紹介するかは  
お任せします。

(休憩 10分)

再開 = 16:05

# 3

## ブレストCafe

5分交代のペアブレスト（可能性や花粉を得る）

このパートは：

A3 Togetherの

「アイデア部門」応募へ向けて、  
たくさんの方のアイデアを創出します。

# このパートのアイデア = 公共財

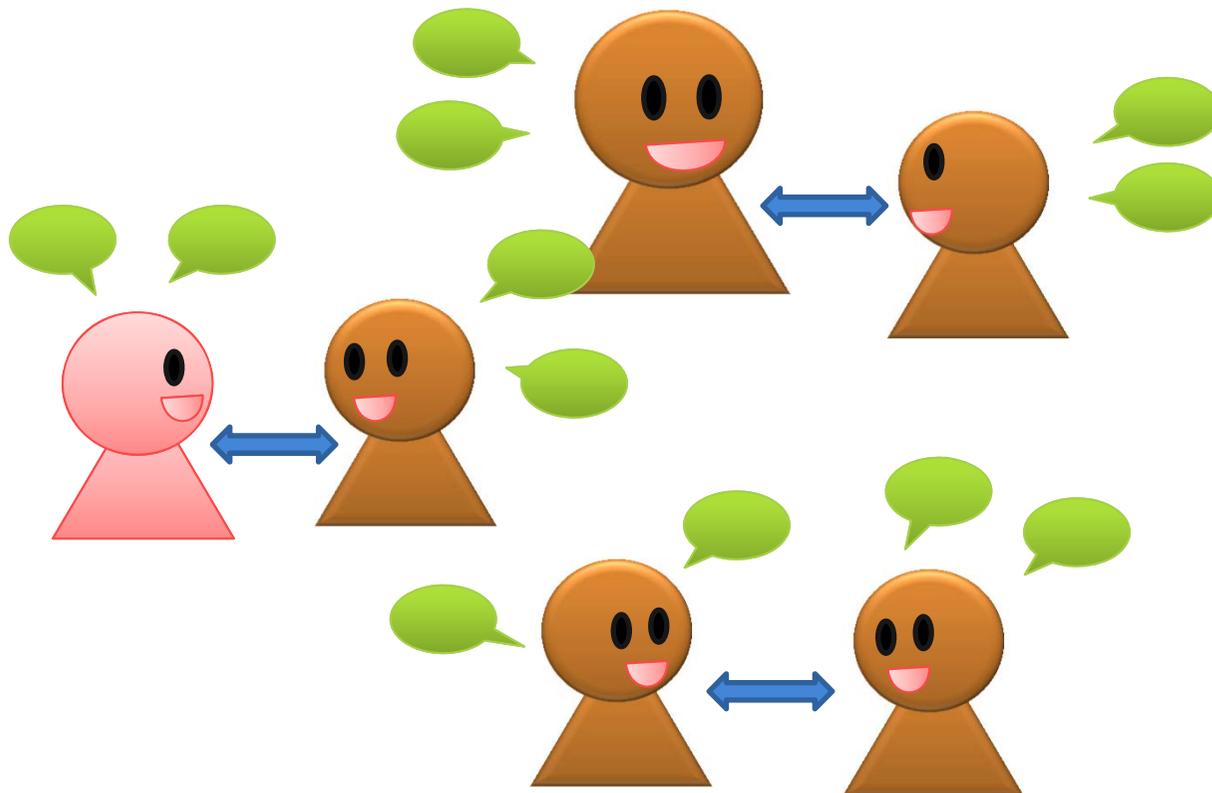
- ここでは沢山の人とアイデアを出しあいます。
- このパートで出されるアイデアは、この場にいた人の公共財として、参加者の誰でもが、利用できる、という前提にしたいと思います。
- 「他の人に使われては困る！」という構想は、本日のアイデアソンでは、心の中にしまっておいてください。

5分交代のペアブレスト

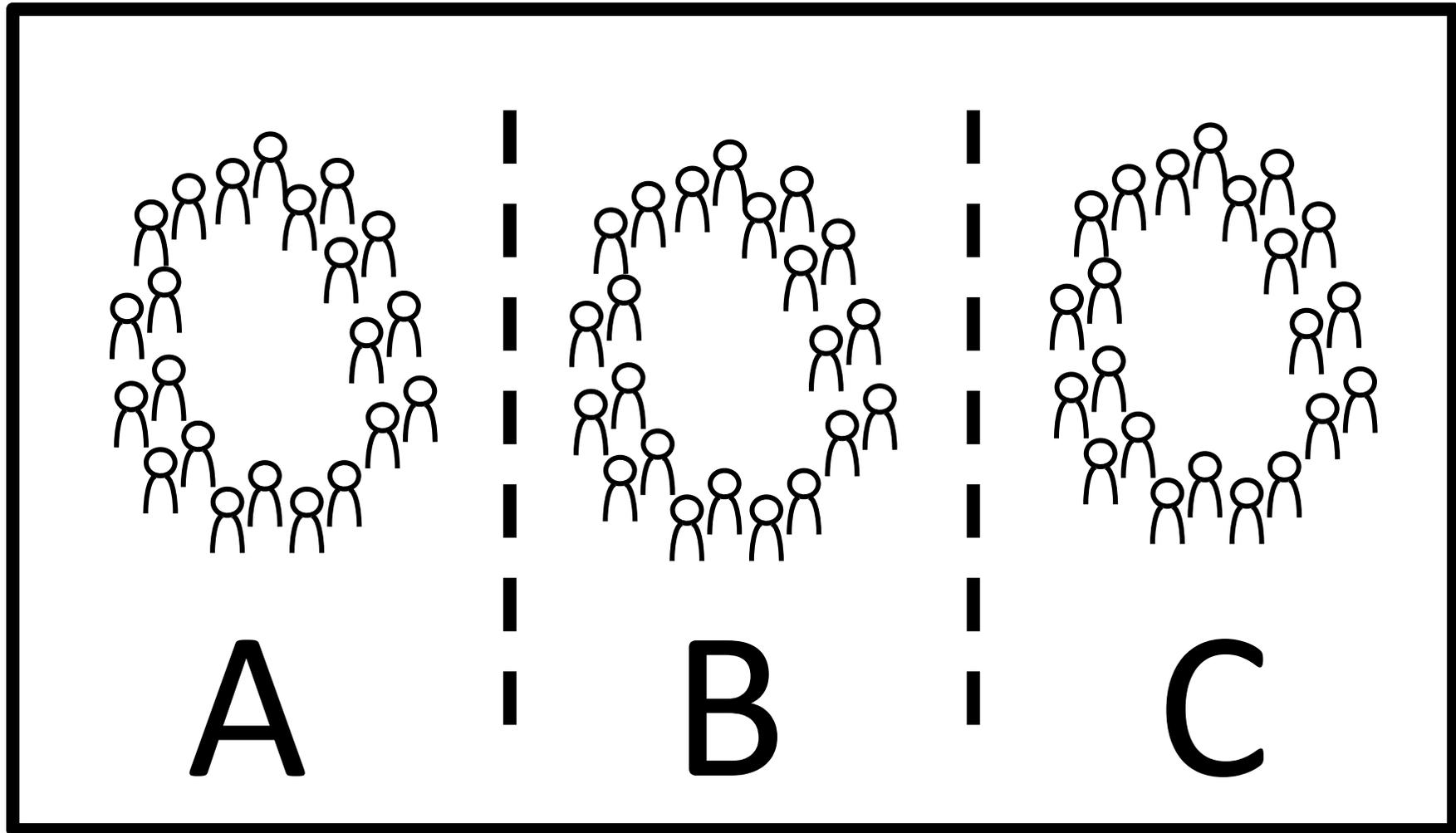
# 1. ペア・アイデア出し (他花受粉)

## SpeedStorming

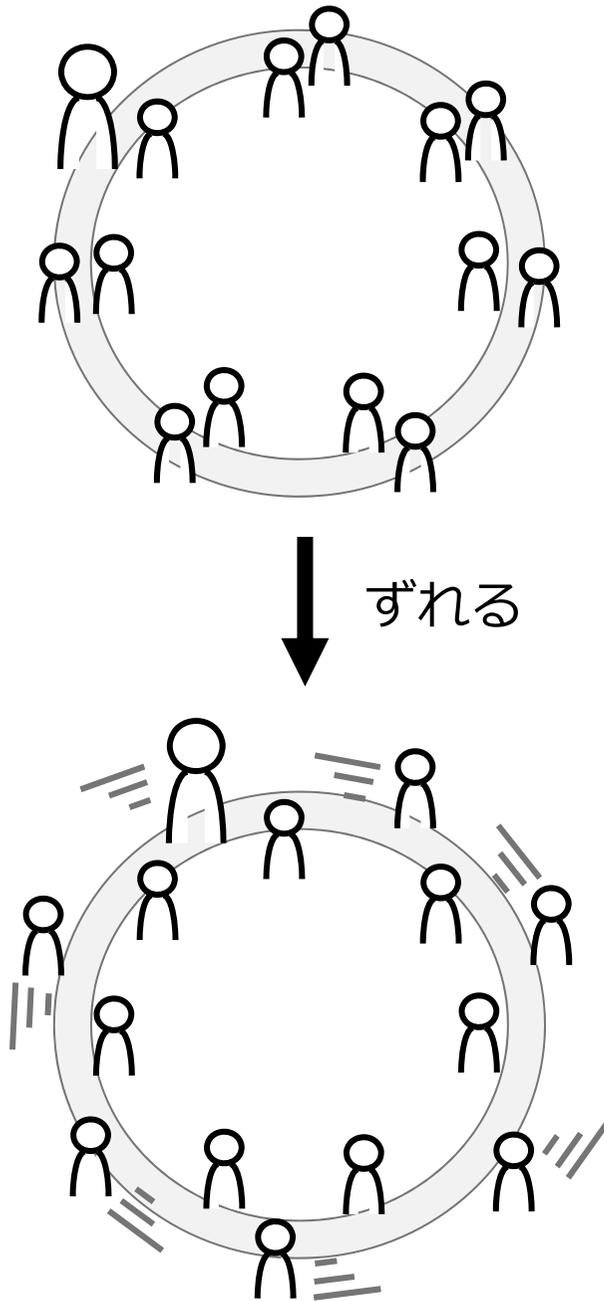
- 近年、開発されたブレインストーミングの1つの形
- 異なる専門の人同士の連携ネタを生み出しやすい



今のメンバーとできるだけだけ分かれ  
会場全員で、大きな二重の円を、3つ作ります。



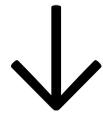
# やり方 (30分)



- ① ペアで、輪に
- ② 5分間、ペアで、ブレスト。  
(テーマは? → 次のスライド)
- ③ 1分間、メモタイム  
(会話を、徐々に収束)
- ④ 挨拶、外側が1つ移動  
(時計回りに)

～ 計5回、実施

で、発想のテーマは？



A3 Togetherの「3テーマ」

# 被災者支援

被災された方に向けたサービス。例えば、避難所の生活を癒す、ボランティア活動を支援する、被災者の心をケアするものが対象。

# 産業復興

スマートフォンを含むITを活用した既存産業の再建や再構築を目指すサービス。特に、東北地区の産業を復興するアイデアを歓迎。

# 安心・安全

家族や知人との安否確認など、ユーザーに安心感を与えたり、安全を保証したりするサービス。特に震災発生時に役立つものを対象。

「でも・・・  
このテーマで、何度も  
ブレストしたよ・・・。」

「何か、もう一歩、踏み込んだ  
発想の切り口、ない？」

あります！

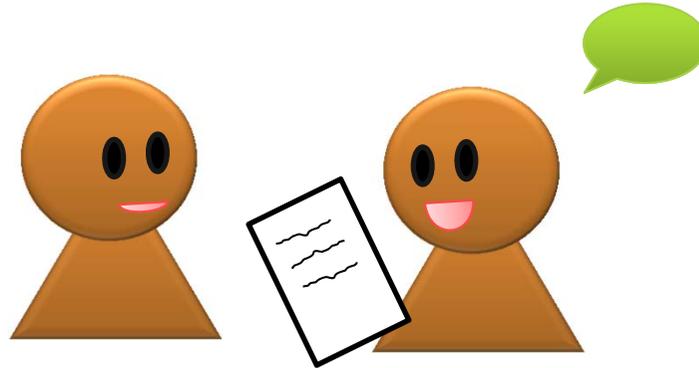
被災地に入りデザインで復興を支援しようとする人達が、興味深い発想の切り口を提示しています。

参考：「震災復興 + design」 [http://issueplusdesign.jp/project/06\\_fukkou/](http://issueplusdesign.jp/project/06_fukkou/)



発想トリガー・リスト

ブレストの時に、アイデアに詰まったら、リストの中から、好きな物を一つ選んで、



「この1番の“〇〇〇”って、アプリかWEBサービスで、仮に実現できるとしたら、それはどんなものだろう？」という感じに発想。

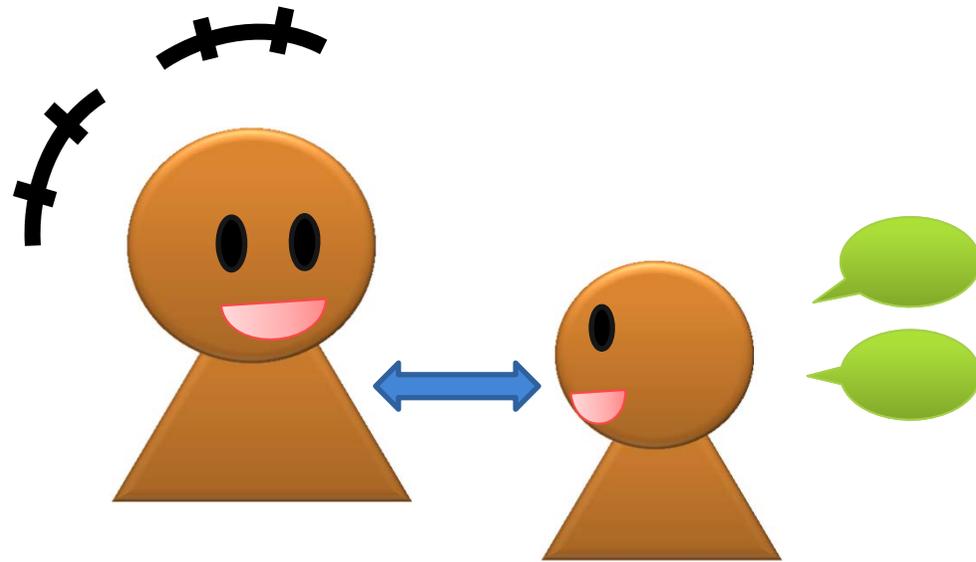


もちろん、  
リスト使わなくても、  
復興アプリのアイデアが  
どんどん出れば、  
それで結構です。

あくまでも、道具は補助ですから

ルールを1つだけ。

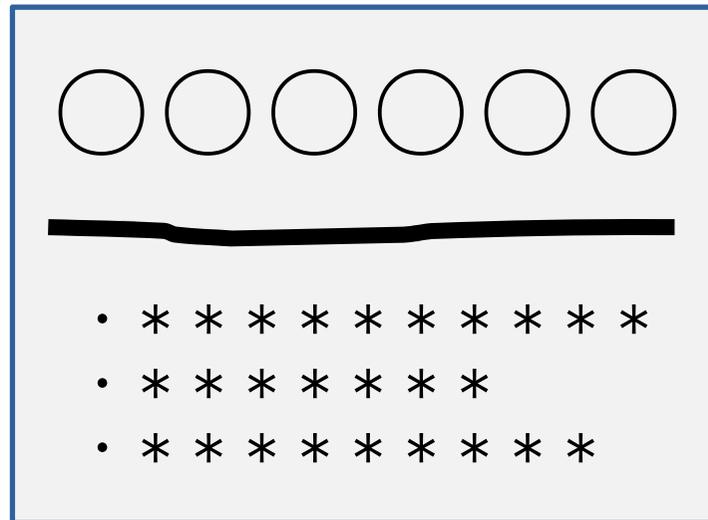
「プレイズ・ファースト」



“アイデアの良い所に  
光を当ててコメントする”

アイデア・スケッチを書く

# アイデア・スケッチ



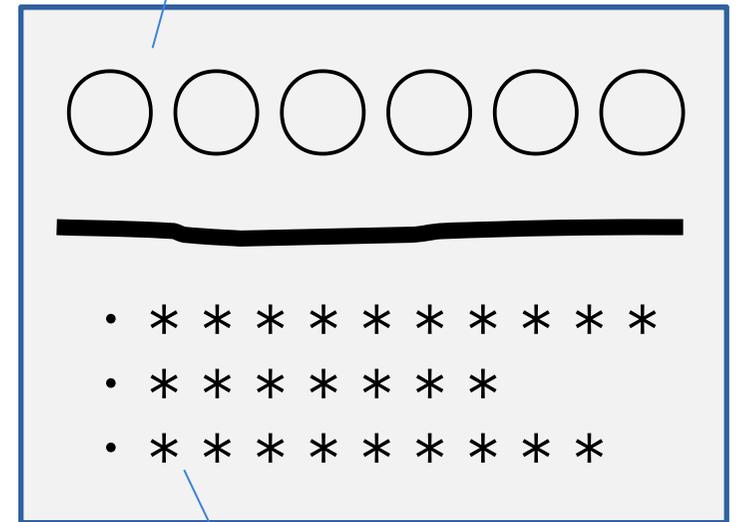
アイデアを、少し具体化。

# アイデアの書き出し

印象に残ったアイデア、  
取り組みたいアイデア、  
を書く。

1人3枚。8分 (+a)

アイデアのヘッドライン化



補足、詳細、3つまで！

(他の人から聞いたアイデアでもOK！)

# ハイライト法

---

☆を付けて回す。

**「面白い」**

**「広がる可能性がある」** と感じるものに。

ここは、ランダムに4人で組んで、ワークを行います。  
最後は、自分のにも、つける。

レビューして、発展させる

4人の中で、  
スケッチを見せ合い  
☆の多い順にアイデアを  
レビュー（8分）

- ・ 書いた人 = アイデアを簡単に紹介
- ・ 他の人達 = 「そのアイデアのよいところ」や「関連するアイデア」があれば、コメントします（～ミニ・ブレスト）

スケッチは、持って帰って、  
A3 Togetherに  
ぜひ応募してください。

タイトル+1000文字説明でOK!

本日は、皆さま、  
ありがとうございました

アイデアプラント 代表  
フアンドロイド 理事長  
石井力重 @ishii\_rikie